

QSK はまゆう 希望の風だより



社会福祉法人 はまゆう福祉会
〒807-0046
福岡県遠賀郡水巻町吉田西3丁目19-11
電話：093-201-6151 FAX：093-201-8151
E-mail：hamayu-honbu@nifty.com
HP：http://www.hamayu-mizumaki.com/
No.5(vol. 32) 2021年5月1日



主な内容

- ★はまゆう福祉会、家族会、サポートセンター代表挨拶..... 1
- ★はまゆう福祉会の組織体制、施設の取り組みについて..... 2
- ★はまゆう福祉会の活動紹介..... 3
- ★利用者さんの作品、行事案内、電話相談等..... 4

持続可能な施設を目指して

コロナウィルスの収束が見えない、今年度は、一段と厳しい情勢が予想されます。

まずは、防止策を継続・強化して、本会から一人も感染者を出さない事を目標にしています。

精神障がい者を取り巻く生活環境は、旧態依然として変わらず厳しい状況にあります。

今後本会が、精神障がいの地域拠点施設としての役割と責任を果たすためには、本会が更に魅力のある持続可能な施設となるために、一層の奮励が求められます。

そして、利用者さんやご家族の「安全と安心」が確保できる社会の実現に努めなければなりません。

本会に携わる全員が問題点を共有して、改善を図る努力を一心となって実行していきますよ！

当事者や家族も共に安心して暮らせる社会を

3月の国会で「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」の見直しがあり、民間事業者の合理的配慮の提供が努力義務から法的義務に変更されました。

また、精神神経学会の働きかけにより、厚労省が精神疾患の方(入院者・手帳所持者)のコロナワクチン接種を優先にしました。

少しずつではありますが、当事者に寄り添う政治が前進しているのかなと感じますが、世の中には、まだまだ物心両面で生活のしづらさや不便を感じていることが多くあります。

声が制度をつくる一面があると思いますので、家族会活動の三本柱の一つである「運動(働きかけ)」を進め、当事者・家族も共に安心して暮らせる社会を目指し、今後も家族の声を届けていきたいと思います。

私が大事にしている【指針】について

前号で、特別寄稿して頂いた「ちはやACTクリニク院長 渡邊 真里子先生の文章(言葉)」を、我が家の壁に掲げ、時折読み返しています。

テーマ「2020年冬の過ごし方」コロナ禍の中で」

右記のテーマで、「コロナ禍の過ごし方」と対策まで、利用者・職員・関係者に分かりやすい言葉で発信をして頂きました。ストレスの多い日常ですが、その「指針」に勇気を頂いています。感謝です。皆さんにも再読、再再読をお勧めいたします。

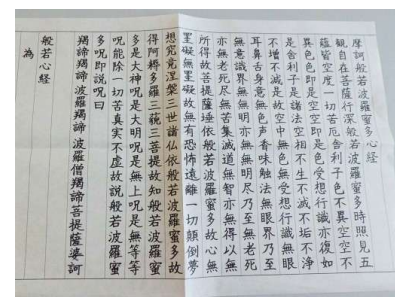
今回、職員の人事異動を行いました。異動の目的！ 私どもの法人は、多機能施設です。異動することで、経験・体験を積み、他の業務も、誰もが自らの仕事として出来るようになることを目的としています。このことにより、もっと利用者の方々へのサービスに繋がることを目指しています。

利用者さんの作品【写経】

心の安定を求めて、余暇活動で「写経」に取り組んでみました。クラシック音楽が流れ、お香を焚いた部屋で、みなさんは一心不乱に写経に取り組まれました。あまりにも厳かな空気のため、話しかけるのがはばかれるほどでした。



無心になり書き写しています



写経、完成しました

利用者の方からは、「楽しかった。」「集中できた。」「頭の中がからっぽになった。」という話が聞かれました。

写経には、心や身体、脳に良い効果を与えることがわかって、近年若い人の間でも人気になっています。

写経には、不思議な力があります。

日々の生活の中で、ストレスや悩みなどを軽くし、心を癒してくれます。

写経の効果

- 一、精神が安定する
- 二、脳が活性化する
- 三、集中力が高まる
- 四、姿勢が良くなる
- 五、字が上手くなる
- 六、免疫力がアップする

家族電話相談(福岡県委託事業)

「こころの相談電話」のご案内

☎ **家族のための、電話相談受け付けます。** ☎

精神障がいのある家族を、家族だけで抱えていませんか？
同じように悩み、いろいろなことを経験してきた家族が相談に応じます。

対象者 心の病(統合失調症、うつ病、発達障がいなど...)を持つ方のご家族。

電話番号：080-4279-2970
相談日：毎週金曜日
相談時間：13:00~16:00

秘密は守ります。地域福祉情報も提供します。

★はまゆう家族会賛助会員加入のお願い

はまゆう家族会の活動に、ご理解とご協力をいただける方を募っています。

《年会費》 個人様 1口 3,000円
団体様 1口 10,000円

お申込みは、はまゆうサポートセンター事務局へお問い合わせください。

TEL：093-201-6151

【編集】社会福祉法人はまゆう福祉会 〒807-0046 福岡県遠賀郡水巻町吉田西3丁目19-11
【発行】QSK九州障害者定期刊行物協会 〒812-0054 福岡市東区馬出2-2-18
【定価】100円 購読料は会費等に含まれます

行事案内

- 【サポートセンターじゃがいも収穫】
*日時：5月中旬
*場所：岡垣(吉田農園)
- 【家族会総会】
*日時：6月19日
*場所：水巻町中央公民館(視聴覚室)
- 【第5回福岡精進大会】
*日時：9月予定
*場所：未定
- 【福岡連北九州ブロックスポーツ大会】
*日時：未定
*場所：未定

新型コロナウイルスの感染拡大の状況などによっては、変更・中止となる場合があります。

★令和3年度【家族による家族学習会】日程表

※場所：はまゆうサポートセンター

実施回	月 日	時 間
第1回	8月21日	13:00~16:00
第2回	9月18日	13:00~16:00
第3回	10月16日	13:00~16:00
第4回	11月20日	13:00~16:00
第5回	12月18日	13:00~16:00

地域活動支援センターについて

はまゆう福祉会の地域活動支援センターは、遠賀郡4町(芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町)の委託事業として運営されています。利用できる方の条件として、遠賀郡在住の精神障がいを持つ方で、医師の許可により通所が可能な方で、さらに服薬管理ができる方となっています。

ここ数年、お問い合わせが多いのが、病院の関係者から、退院予定の患者さんがおられ、すぐに就労施設や一般社会と交わるには不安があり、その前段としての居場所を求められているケースが多いようです。ですから、退院してすぐに利用される方がほとんどで、病状としては比較的重い方で、退院できる状態に持ち直した状態で利用を始められます。

主な病気としては、統合失調症やうつ病、発達障がいの方が多い状況です。

皆さん利用したいという気持ちは旺盛ですが、薬の影響が大きいようで、毎日通所することは難しく、多い人で週に4回、少ない人は月1〜2回という方もいらつします。最近の一日当たりの平均利用人数は5〜7名程度です。

一日の流れとしては、朝9時から職員が送迎に出発し、10時前に施設に到着。揃ってミーティングを行うことから一日が始まります。その後は、曜日によりいろいろな予定を組んで活動しています。

調理実習
利用者さんの手作り

篠栗町南蔵院の涅槃像

いろいろな人気行事があり、週2回の調理実習と月1回の外出訓練は参加者が多い行事です。

またいろいろなゲームをやっていますが、なかでもトラップが最も時間を費やしている遊びで、皆さん集中すると2時間程度は盛り上がりつづいています。

その他、ウォーキングやヨガ教室、写経なども行っています。これらの行事は不定期ですが見直しをして、ご要望を聞きながら、いろいろな体験をしていただきたいと新しいことに取り組んでいます。

一日の終わりは15時半(木曜日は13時)となつており、この利用時間の間は、利用者が体調に合わせて利用時間を決めることが可能です。

障がいのある方が、家にこもらず、なんとか外に出てきて、少しでも楽しい時間を過ごしていただきたいと考えながら運営しています。

お近くに精神障がいや苦しんでおられる方がいらつしやいましたら、一度教えてあげてください。見学や体験通所も受け付けています。よろしく願ひします。



人気が高い、クリスマス会はみなさんの楽しみです！

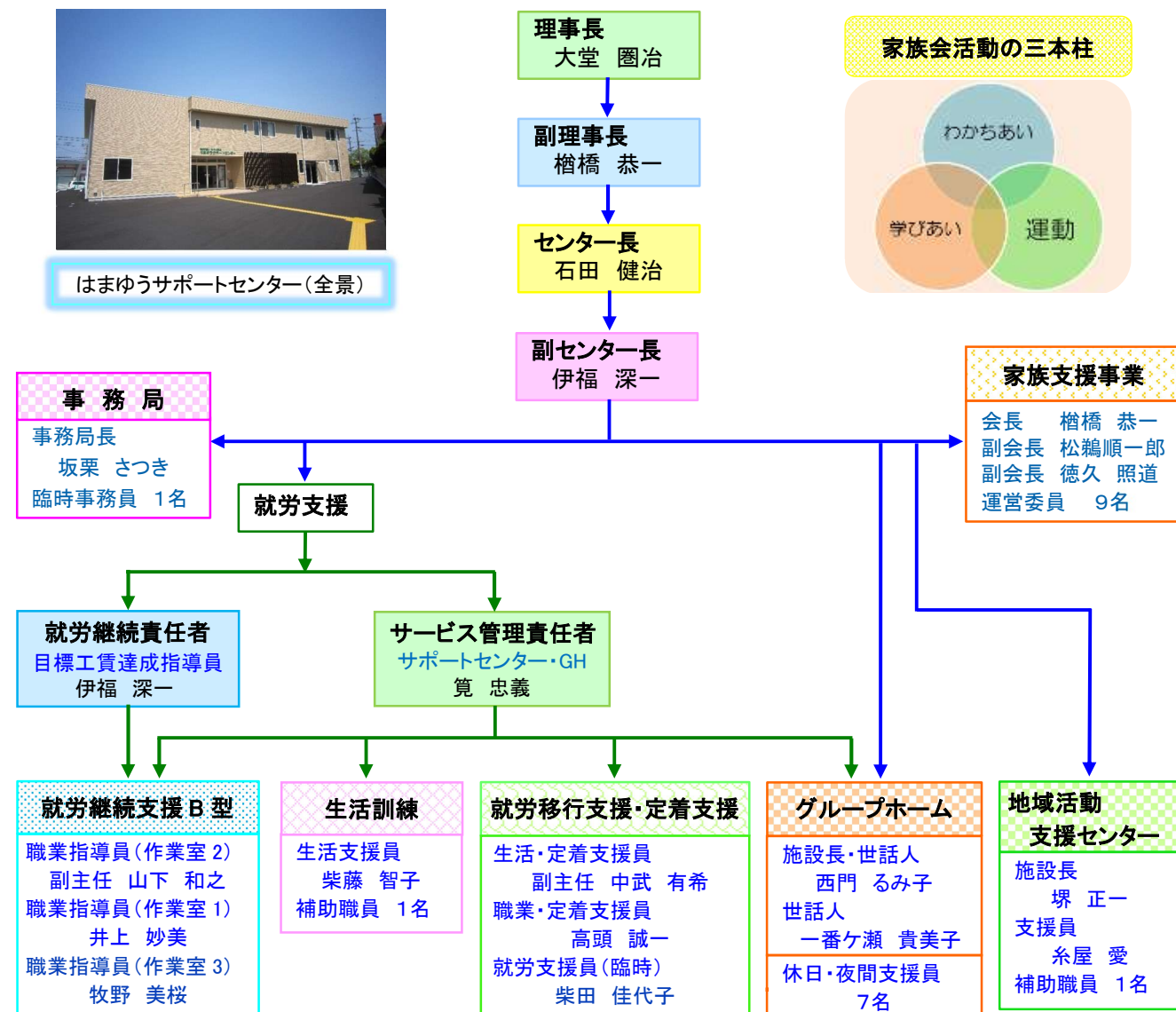
クリスマス会について

昨年12月25日、はまゆうサポートセンターで、クリスマス会を事業ごとに特色を出して行ないました。例年であれば、水巻町中央公民館で、全体で行なっていました。今回はコロナ禍の中で、極力3密を避け、利用者さんが少しでも楽しめる企画をと、職員で考え、実行しました。

ビンゴゲーム、射的、オセロ等やりながら、楽しい時間を過ごしていました。チキン、ワインナー、サンドウィッチが入った豪華昼食を食べながら、サンタクロースのプレゼントを各自受け取り、充実したひとときを過ごしていただきました。

来年のクリスマスは全体でしたい。という声もありますので、コロナが早く収束するのを祈るばかりです。

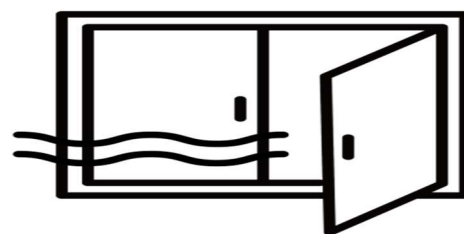
令和3年度 社会福祉法人はまゆう福祉会 組織体制図



手洗いをこまめに



PCR 検査



換気をこまめに

「コロナ禍のなか」施設の取り組みについて

令和2年度は、コロナ感染者を施設で一人も出さないことを目標に、基本の手洗い・除菌・マスク着用・体温チェック・換気を施設で毎日取り組みました。

日々の支援も距離間・換気を十分に配慮し、また、月2回土曜日を利用した趣味の会も、感染に気をつけながら、さまざまな3密をさけたアイデアを考えて実施しました。

このような工夫で、施設が感染者も出さず、1月から2月の間に県からの要請で行ったPCR検査も職員全員陰性の結果でした。

日頃から、意識して「生活の中でも感染予防に努めてきてよかった」と、みんなで安堵したところでした。

これからも、「コロナに負けない笑顔」つばいの施設をみんなで目指して行きたいと思っています！